

# 機は熟した！

はじめの一步を踏み出してみよう

2018.09.19

No.30

校長 渡邊 幸二

2学期はじめの職員会議で、右のようなお話をしたのを覚えていませんか。

今日のタイトルはあげさなように聞こえますが、今を逃したら浜田小学校が二度と浮かび上がれないように思い、勇気を出してお伝えします。

## ① 昨日の中原浩子氏の講演

自立の子育てとは

就学時検診講話

子どもの課題とは

## ② 学びの共同体

ジャンプの課題とは

## ③ 研究だよりNo.3

子どもを困らせるとは

### 1学期をふり返って～私自身の反省

職員の強み：個性あふれる、能力の高い職員

互いに学びあい、成長できるすばらしい環境

弱み：

「組織」とは言えない → チーム浜田として機能

酒田・鮑海の弱点でもある（⇔個性の尊重）

子どもと向き合うこと、先生同士の対話(情報の共有)、ラストマンとして新たな実践……

### 2学期の実践に向けて

① NRTと全国学調

② ブランディング ～浜田の強みを生かす

小中一貫教育、CS、開かれた教育課程……

どこも同じ？ 特色ある学校づくり

③ プラス思考

大きく自分を変えるのではない 人生の方程式（稲盛和夫）

改善志向・改革志向 ⇔ 批判的、消極的、懐疑的……

言い訳、責任転嫁

たとえば「浜田小ユニバーサルデザイン」をする！

④ ねらいを掲げ所に

反省って？ ⇔ PDCAサイクル

書き出す……

文明開化



## 浜田小学校リノベーション(刷新・改善) = 一步踏み出す先とは？

自ら学ぶ(主体性、協働的解決、表現・貢献)

自尊感情・自己肯定感、他者意識

自らの生活(人生)をつくる、自己管理

公益・貢献……



学校経営方針  
の具現化

## 学校研究(協働的な学び・互惠的な学び)を加速させる

その他の項目についても、教師自らが主体的に！(ラストマン=権限委譲)

さらに、これを持続可能な営みまで(浜田小学校の文化・ブランドにする)